

教科(科目)	国語	総時数	140 時間	学年(コース)	1 学年
使用教科書	光村図書『国語1』				
副教材等	『中学必修テキスト』、『あかねこ読解スキル』、『漢字ノート』				

1 学習目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 指導の重点

- ① 課題解決のために対話活動を取り入れ、主体的に探求する態度と能力を育てる。
- ② 作文やスピーチなどの表現活動を充実させることで、自分の考えを表現する力を育てる。
- ③ 日々の漢字や語句の学習を継続することで、語彙を豊かにするとともに、漢字検定4級の取得を目指す。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	学びをひらく	花曇りの向こう 漢字の組み立てと部首	人物の役割(主役・対役)の理解 クライマックスの理解	12	ワークシート・考査
5	新しい視点へ	大根は大きな根?	問いと答えの対応の理解	12	ワークシート・考査
6		ちょっと立ち止まって 文法1(言葉の単位)	文章構成の理解	14	ワークシート・考査
7	言葉をつなぐ	詩の世界 空を見上げて 意見文を書く	詩の形式の理解 象徴的な表現、比喩表現の理解	14	ワークシート・考査
8					ワークシート・考査
9	書写 つながりの中で	楷書 星の花が降るころに 大人になれなかった弟たちに……	秋燕祭に向けた作品作り 場面分けの理解 人物の心情変化の読解 作品の主題の理解	7 7	ワークシート・考査
10		シカの「落ち穂拾い」	連続テキストと非連続テキストの対応	14	ワークシート・考査
11	いにしえの心に 触れる	月に思ふ 蓬萊の玉の枝	古文の音読・暗唱 登場人物の言動に対する評価	14	ワークシート・考査
12	書写	楷書 今に生きる言葉 文法2(文の組み立て)	書き初めの作品作り 訓読の基本の理解 故事成語を使った作文	7 7	ワークシート・考査
1	論点を捉えて	幻の魚は生きていた	文章構成の理解	10	ワークシート・考査
2	自分を見つめて	少年の日の成り立ち	主題の把握	12	ワークシート・考査
3		文法3(単語の分類)	品詞分解の理解	10	ワークシート・考査

計140時間(50分授業)

4 課題・提出物等

・漢字ノート、必修テキストを中心に授業の進度に応じて課題として提示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。				
(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現)(技能)			(知識・理解)
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重する姿勢が身に付ようとしている。	目的や場面に応じ、適切に話したり話し合ったりして、自分の考えを豊かにしている。	相手や目的、意図に応じ、筋道を立てて文章を書いて、自分の考えを豊かにしている。	目的や意図に応じ、様々な文章を読んだり読書に親しんだりして、自分の考えを豊かにしている。	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく整えて速く書いている。
以上の観点を踏まえ、①授業の取組、②課題の提出状況などから、総合的に評価する。				

6 担当者からの一言

国語の学習は「実技教科」と心得てください。「話す」「聴く」「書く」「読む」それらの活動を、授業の中で全力で取り組んで、それらができるように技術を身に付けることが大切です。受け身の態度ではなく、積極的な活動が学力の向上につながります。

(担当：込山)